

## 慰霊の千羽鶴 海を越えドイツへ 肥沼信次博士の命日にあわせヴリーツェン市に送付

第二次世界大戦終戦直後のドイツで伝染病患者の治療に尽力し、八王子市とドイツ・ヴリーツェン市との友好交流協定締結のきっかけとなった、本市出身の医師・故肥沼信次博士こえぬまのぶつぐ。本市は平成27年以降、毎年、博士の命日(3月8日)にあわせ、市民の皆さんが折った千羽鶴を送付しており、今年で9回目となります。

今年の千羽鶴は約4,000羽で、博士の母校である第三小学校のほか、四谷中学校、ヴリーツェン市の聖ヨハニッター校と姉妹校提携を結んでいる八王子学園八王子中学校・高等学校の児童・生徒、博士の功績に感銘を受けた市民の皆さんが、心を込めて折ったものです。

千羽鶴を次のとおり受領し、市長の親書と子どもたちのメッセージを添えてヴリーツェン市のイルム市長に送られ、肥沼博士の墓前に供えられます。なお、この千羽鶴受領式は、コロナ禍において、一時中止していましたが今年から再開するものです。

- |         |  |
|---------|--|
| 1 日 時   | 2月7日(水) 午後4時30分  |
| 2 会 場   | 市長公室(本庁舎3階)  |
| 3 出席予定者 | 八王子市立第三小学校 児童代表<br>八王子市立四谷中学校 生徒代表<br>八王子学園八王子中学校・高等学校 生徒代表<br>Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会 |



▲写真は過去の受領式ものです

<問い合わせ>

市民活動推進部多文化共生推進課長 中野目 電話 042-620-7437